

平成 26 年度 外部点検結果報告書

福井市行政改革推進委員会

平成 26 年 10 月 30 日

No.	事業名 担当所属 【25年度決算額】 (26年度予算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳(人)			
1 【2班】	生活安全活動 支援事業 危機管理室 【2,088千円】 (1,999千円)	再構築	維持		市民の安全安心を守るために必要な事業である。また、市民への啓蒙やコミュニティ単位での防犯意識の高揚は重要である。 ただし、長期間取組みを継続しているため、事業内容のマンネリ化や組織の形骸化について、打開することを期待して、今後の方向性は「再構築」とした。	①これからの時代、市民生活の安全性を高めるために、すべきことは何か、これからの若い世代も受け入れるような普及啓蒙方法について議論する検討組織を期間限定で立ち上げて、市民の安全・安心の確保につながるような取組となるよう検討すべきである。
	拡大					
	縮小					
	再構築		5			
	廃止					
2 【2班】	高齢者世話付住宅 生活援助員派遣事業 長寿福祉課 【1,362千円】 (1,401千円)	再構築	維持	2	市営住宅福団地S棟において、ハード・ソフト両面からの取組は先進的な事業であると評価する。これからの高齢社会にあって高齢者の見守りは重要であるため、S棟での取組を継続するとともに、この取組について全市的に事業展開を図る必要があると判断し、協議の結果、今後の方向性は「再構築」とした。	①S棟はこれからの高齢社会における地域での見守り、ケアのモデル的事業として取組んだのであるならば、これまでの実績や経験、課題等を検証して、他の市営住宅や自治会に展開するといったことも含めて、地域での見守り支援政策として展開していくことを検討すべきである。
	拡大		1			
	縮小					
	再構築		2			
	廃止					
3 【1班】	ボランティア活動 支援事業 男女参画・市民協働推進室 【3,593千円】 (3,365千円)	再構築	維持	3	総合ボランティアセンター整備事業については、現在準備段階にあると理解しており、今後、事業内容を精査して取組を進めてほしいという思いから期待の意味で、協議の結果、今後の方向性は「再構築」とした。	①必要なことを整理し、順次可能なことから実施していくべきである。例えば、ボランティアのニーズを把握し、実践活動に具体的にどうつなげていくかを明確にしていくことが必要である。 ②県、市、県と市の社会福祉協議会をはじめとして、各関係機関が連携できる仕組みをつくるべきである。特に、アオッサ内のふくい県民活動・ボランティアセンターや市NPO支援センターなどとの連携を深め、効果的な活動支援策を検討してもらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築		2			
	廃止					
4 【2班】	著名作家紹介特別展 開催事業 おもてなし観光推進室 【1,300千円】 (1,470千円)	再構築	維持	3	橘曙覧を主軸とした小規模な文学館としての性格を有することから、企画展も含めた運営方針について、設置目的に立ち戻って再検討する必要がある。また、維持の意見は再構築の意味合いが強いため、協議の結果、今後の方向性は「再構築」とした。	①集客のために全国の著名な作家をとりあげるのではなく、本館の目的である福井の文学を市民に伝えるという観点で企画内容を検討すべきである。 ②採算性向上についても努力し、この事業に取組んでももらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築		1			
	廃止		1			

No.	事業名 担当所属 【25年度決算額】 (26年度予算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳 (人)			
5 【2班】	愛宕坂にぎわい事業 おもてなし観光推進室 【5,218千円】 (5,627千円)	拡大	維持	1	他事業、他団体と連携することで、愛宕坂のにぎわい創出だけでなく広がりのある取組が期待できる事業であると判断し、今後の方向性は「拡大」とした。	①他事業と総合的・横断的に連携し、足羽山全体、ひいては、足羽川、中心市街地を含めた視点で取組を検討すべきである。 ②足羽山を福井市民の財産としてとらえ、市民・地元住民の参画を積極的に促し、もっと積極的に持続的で魅力あるまちづくりにつながる取組をすべきである。
			拡大	4		
			縮小			
			再構築			
			廃止			
6 【1班】	認知症施策 総合推進事業 介護保険課 【5,567千円】 (5,500千円)	拡大	維持	2	今後ますます認知症の人が増え、認知症対策の必要性が高まることで重要性が増す事業であると判断し、今後の方向性は「拡大」とした。	①施策ビジョンを明確にし具体的な事業目標を設定することによって、市民に分かりやすく伝えてもらいたい。 ②関連事業について、重複などの無駄を省いて集約を図り、認知症の早期発見に向けた取組を積極的に行ってもらいたい。
			拡大	3		
			縮小			
			再構築			
			廃止			
7 【1班】	ボトル水販売・ 宣伝啓蒙事業 ガス・水道お客様課 【589千円】 (2,047千円)	拡大	維持	3	福井市の水道水の安全性とおいしさを市民にアピールするだけでなく、もっと福井市のPRに効果的に活用してもらいたいという期待から、協議の結果、今後の方向性は「拡大」とした。	①ドライミスト設置については、民間にも普及し行政としての役割は果たしたということから今後は実施せず、福井市（おもてな水）のPRに特化した事業にすべきである。 ②コスト削減への努力は必要だが、採算性の観点だけでなく、福井市のPRを第一に考えて事業に取組んでもらいたい。 ③ボトル水の製造量を増やして活用を広げることで、ボトル水を福井市の知名度向上に寄与できるPRツールにしてもらいたい。
			拡大	1		
			縮小	1		
			再構築			
			廃止			
8 【2班】	少年自然の家 運営事業 少年自然の家 【10,589千円】 (11,580千円)	維持 (要改善)	維持	4	小・中学校の宿泊体験学習は学校との打合せを綿密に行って実施しており、また主催事業、ネイチャー寺子屋などの企画については参加者の満足度も高く、事業内容については意義あるものと判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、市の負担に対して収入が少なく、今後更に利用者を増やすため、主催事業、ネイチャー寺子屋の取組について改善が必要である。	①社会や教育現場のニーズを把握し、施設のあり方、企画内容、広報の手法について検討し、他の類似施設や事業に負けない魅力を創出する取組をすべきである。 ②職員の企画力向上のための方策や、教職員・NPO・地元住民等の参画による魅力的なプログラムづくりなどを検討し、従来の運営にとらわれない柔軟な取組をすべきである。
			拡大	1		
			縮小			
			再構築			
			廃止			

No.	事業名 担当所属 【25年度決算額】 (26年度予算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳 (人)			
9 【1班】	木造住宅耐震診断等 促進事業 建築指導課 【3,381千円】 (4,262千円)	維持 (要改善)	維持	5	市民の安全安心のための事業で、必要な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、周知方法、成果率を上げる方法、実際に耐震改修工事を実施してもらうことについて改善が必要である。	①耐震されていないと推計される2万数千戸に居住される方に対して、関心を高める方策を検討すべきである。 ②ケーブルテレビでのCM広報や自治会を通じての回覧では不十分と考えるので、対象者を限定して効果的に事業を周知する方法も考えてもらいたい。 ③重点的に地域を決めて、耐震改修工事を推進するなどの方法も検討してもらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築					
	廃止					
10 【1班】	ふくいおしごとネット 情報発信事業 労政課 【1,449千円】 (1,428千円)	維持 (要改善)	維持	4	求職者支援のためだけでなく、地域振興のためにも必要不可欠な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、取組の成果が把握できるよう、手法や事業内容について検討する必要がある。	①業者に委託してまかせるだけでなく、ユーザーの視点を取り入れ、他サイトとの差別化を図るべきである。 ②他自治体と連携した求人情報の発信を検討してもらいたい。 ③若年層に福井の企業の魅力をアピールする方策を考えてもらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築		1			
	廃止					
11 【1班】	中小企業 労働相談事業 労政課 【1,419千円】 (1,419千円)	維持 (要改善)	維持	3	中小・小規模事業所にとっては必要な事業であり、他ではやっていない大事な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、手段が目的となってしまっているところがあり、事業内容の更なる充実が必要である。	①効果的に相談を受けられる環境を整備すべきである。 ②訪問件数にこだわるのではなく、時間をかけて企業を訪問し、労働相談と合わせて企業の特色などビジネスに関わる情報についても収集しコーディネートしてもらいたい。 ③障がい者雇用に注力してもらいたい。
	拡大		1			
	縮小					
	再構築		1			
	廃止					
12 【1班】	防火委員会活動 補助事業 予防課 【1,200千円】 (1,200千円)	維持 (要改善)	維持	3	防火意識を高め、安全・安心なまちづくりを推進する防火委員会の活動に補助する重要な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、防火委員会の活動内容をもっと市民に広報するなど補助の効果を高める改善が必要である。	①地域、住民ニーズについて情報収集を行い、時代にあった補助をすべきである。 ②防火委員会に対し、以下の点について指導を行ってもらいたい。 ・防火委員会の活動を一般の方に知ってもらうための啓発活動の実施 ・市民の安全を守る、防火、防災などの各種活動や団体との連携
	拡大					
	縮小					
	再構築		2			
	廃止					

No.	事業名 担当所属 【25年度決算額】 (26年度予算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳(人)			
13 【1班】	文書配送業務 委託事業 教育総務課 【5,059千円】 (8,500千円)	維持 (要改善)	維持	4	学校事務を円滑に執行するために配送業務の担 う役割は大きく、継続して実施する必要性が認めら れるため、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、配送業務の効率化などについて改善が必 要である。	①文書の電子化が進んだ場合、更なる事業の効率化に向け、配達日数等につ いても検討すべきである。 ②極力、公立・私立の子どもたちの間で情報格差が発生しないよう対応を 図ってほしい。
拡大						
縮小						
再構築	1					
廃止						
14 【1班】	防災センター 運営事業 防災センター 【25,137千円】 (25,855千円)	維持 (要改善)	維持	4	防災意識の啓発を担う事業であり、継続していく 必要があると判断し、今後の方向性は「維持」と した。 ただし、効率性、有効性という観点から改善が必 要である。	①防災センター内の事業体系が複雑になっているため、統廃合をして効率 化を図るべきである。 ②広報やPRの方法について検討を行い、また設備の更新も視野に入れて、 人を引き付ける工夫をしてほしい。 ③ふれあい公社以外の民間事業者への委託についても検討してほしい。
拡大						
縮小						
再構築	1					
廃止						
15 【2班】	市美展ふくい 開催事業 美術館 【5,410千円】 (5,300千円)	維持 (要改善)	維持	5	美術の鑑賞、発表、レベルアップの場としての役 割を果たしていると判断し、今後の方向性は「維持」 とした。 ただし、実行委員と審査委員が同一であることの 解消、また、文化芸術の裾野を拡大するための改善 が必要である。	①実行委員が審査委員を兼ねていると、審査に疑念、誤解を招く恐れがあ ることから、審査体制について検討すべきである。 ②福井市の子どもたちの文化芸術の裾野を拡大し、文化芸術の発展の場や意識 を高める機会とするため、出品資格に中学生を加え、拡大してほしい。 ③収支決算に出品料を参考記載するとともに、会場設営などの委託の際に は複数業者から見積もりをとるなどして、収支の透明化を図ってほしい。
拡大						
縮小						
再構築						
廃止						
16 【2班】	漁業協同組合強化育成 貸付事業 林業水産課 【100,000千円】 (100,000千円)	維持 (要改善)	維持	5	漁業従事者の生活及び生業の安定のために必要 な事業であり、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、後継者の育成、経営指導や両漁協の合併 など、自立に向けた改善が必要である。	①新たな商品企画、市場の開拓を促すために、行政もしくは県信漁連にて 経営指導を行い、経営の安定化を図るべきである。 ②越前海岸の海産資源の恩恵を、市民が身近に受けることができる機会を もっと増やしてほしい。 ③両漁協の合併によるスケールメリットや効率化について研究してほしい。
拡大						
縮小						
再構築						
廃止						

No.	事業名 担当所属 【25年度決算額】 (26年度予算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳(人)			
17 【2班】	越廼簡易水道管理事業、 民営簡易水道維持管理事業 簡易水道課 【30,441千円、9,965千円】 (31,854千円、10,441千円)	維持	維持	5	水道は生存権に関わるインフラであり、安全で安定的な水の供給を行うため必要な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①水道はライフラインとして安全性、安定性を図る必要があり、民営簡易水道地区については、高齢化等により現在のサービス水準を維持することが困難になるおそれがあるため、引き続き公営簡易水道への移行について地元と協議を行っていただきたい。
			拡大			
			縮小			
			再構築			
			廃止			
18 【2班】	消防通信指令設備等 運用事業 管制課 【45,024千円】 (45,900千円)	維持	維持	5	消防情報管制システムの更新により、高度な指令が可能となり市民の安全安心につながっている。また、システムを迅速かつ的確に管理、運用していると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①システムを運用するのは人であるため、今後も人的ミスが起こらないよう訓練等を充実させてもらいたい。 ②次期システムの更新にあたっては更なる高機能化などにより費用の増額も想定されるため、できる限り費用を抑えるように考えてもらいたい。
			拡大			
			縮小			
			再構築			
			廃止			
19 【2班】	中心市街地活性化 基本計画推進事業 都市整備室 【3,345千円】 (3,125千円)	維持	維持	4	各部会により中心市街地活性化基本計画に関する検討がされ、計画どおり事業が推進されていると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①中心市街地活性化基本計画を実効性のあるものとするため、コンセプトを明確にして市民との共有を図り、市民に対するプロモーション活動にも力を入れてもらいたい。 ②県都でもあるので、県との連携強化を図り、積極的に計画を進めてもらいたい。
			拡大	1		
			縮小			
			再構築			
			廃止			
20 【1班】	水道料金徴収事業 ガス・水道お客様課 【244,952千円】 (250,218千円)	維持	維持	4	顧客満足度の充実を図り、事業内容の改善を行っている結果として、料金の収納率・滞納徴収率の増加、滞納繰越額の減額につながっていると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①現場での指導を行うため委託業者への出向についても検討してもらいたい。 ②将来的にはスマートメーターの導入等について、費用対効果についても考えながら検討してもらいたい。
			拡大	1		
			縮小			
			再構築			
			廃止			